



平成28年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成28年1月29日 東

上場会社名 キーコーヒー株式会社 上場取引所
 コード番号 2594 URL <http://www.keycoffee.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 柴田 裕
 問合せ先責任者 (役職名) 財務部長 (氏名) 三上 武善 (TEL) 03-3433-3311
 四半期報告書提出予定日 平成28年2月8日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成28年3月期第3四半期の連結業績(平成27年4月1日～平成27年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年3月期第3四半期	50,236	17.3	1,657	29.0	1,929	15.0	1,290	31.3
27年3月期第3四半期	42,810	3.2	1,284	△27.5	1,677	△19.1	982	△22.9

(注) 包括利益 28年3月期第3四半期 993百万円(△21.9%) 27年3月期第3四半期 1,273百万円(△9.5%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年3月期第3四半期	57.25	—
27年3月期第3四半期	43.33	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
28年3月期第3四半期	51,652	36,963	69.7
27年3月期	50,001	37,211	72.3

(参考) 自己資本 28年3月期第3四半期 36,011百万円 27年3月期 36,161百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年3月期	—	8.00	—	8.00	16.00
28年3月期	—	8.00	—	—	—
28年3月期(予想)	—	—	—	8.00	16.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成28年3月期の連結業績予想(平成27年4月1日～平成28年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	64,000	13.6	1,360	60.8	1,800	29.6	1,130	39.7	50.32

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料の4ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
② 期末自己株式数
③ 期中平均株式数(四半期累計)

28年3月期3Q	22,689,000株	27年3月期	22,689,000株
28年3月期3Q	457,945株	27年3月期	7,945株
28年3月期3Q	22,531,055株	27年3月期3Q	22,681,055株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	10
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	12
(継続企業の前提に関する注記)	12
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	12
(セグメント情報等)	13

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間（平成27年4月1日から平成27年12月31日までの9ヶ月間）におけるわが国経済は、企業収益や雇用情勢等に改善の兆しがみられるなど緩やかな回復基調に推移したものの、消費者の節約志向は根強く、また、中国をはじめとした海外の経済成長の減速懸念など先行き不透明な状況で推移しました。

コーヒー業界におきましては、業績に大きな影響を及ぼすコーヒー生豆相場は落ち着きを取り戻しつつあるものの、円安に伴い輸入原材料が上昇するなど厳しい状況にあります。

このような状況の下、当社グループはコーヒーの持つ魅力を生活者にお届けし続けるという企業使命を果たすため、「品質第一主義」の経営理念に基づいて、「ブランド強化」、「収益力の強化」及び「グループ連携強化」を3つの柱とし、新たな事業領域の開拓、生活者のニーズにお応えする新商品の開発やお取引先との絆を深める企画提案型の営業活動を継続して行いました。

業績につきましては、コーヒー関連事業が好調だったことにより、当社グループの当第3四半期連結累計期間の売上高は、502億36百万円（前年同期比17.3%増）、営業利益は16億57百万円（同29.0%増）、経常利益は19億29百万円（同15.0%増）となりました。また、親会社株主に帰属する四半期純利益は12億90百万円（同31.3%増）となりました。

セグメントの営業概況は次のとおりであります。

(コーヒー関連事業)

業務用市場では、「トアルコ トラジャ コーヒー」や「氷温熟成珈琲」、世界各地の選りすぐりのコーヒー農園産スペシャルティコーヒーシリーズなど差別性の高いプレミアムコーヒーの拡販活動を推進しました。また、お取引先への支援策として、「カレーフェア」を実施するとともに、「シクランジュ クレームブリュレ」などの新商品を発売しました。

家庭用市場では、春夏商品としてロングセラーであるスペシャルブレンドに新アイテム「VP（真空パック）スペシャルブレンド アイスコーヒー」を発売しました。簡易抽出のカテゴリーには、トアルコトラジャのストレートの味わいが楽しめる「ドリップオン トアルコ トラジャ」を発売しました。秋冬商品としては、今までにない「高貴なコク」にこだわった「VP カフェ・ノワール」、オーガニックコーヒー100%ブレンドの「ドリップオン 有機珈琲」を発売しました。

ギフト商品では、中元期に素材や味わいにこだわり、「氷温熟成珈琲アイスコーヒーギフト」など人気の飲料ギフトを中心に全35アイテムをラインアップし、前年実績を上回りました。歳暮期には、2015年モンドセレクションで金賞を受賞した「ドリップオンギフト」や「アロマフラッシュ」製法で挽きたての香りを封じ込めたレギュラーコーヒーなど、美味しさにこだわりぬいた全24アイテムをラインアップしました。

市場開発に対する施策として取組んでおります、店舗と運営の標準化を伴った本格的なコーヒーを提供する「KEY'S CAFE」は14店舗出店し、導入店舗は33店になりました。

業績につきましては、積極的な営業活動が奏効し、業務用、家庭用、原料用向けの各市場とも売上が前年を上回り、特に原料用向け市場は売上が大幅に伸張しました。

この結果、当第3四半期連結累計期間におけるコーヒー関連事業の売上高は433億53百万円（前年同期比23.2%増）、営業利益は19億51百万円（同17.6%増）となりました。

(飲食関連事業)

株式会社イタリアントマトでは、「COLD PASTA FAIR」や「マロンフェア」など季節にあわせたメニューフェアを実施しました。また、「国内は充実」「海外は拡大」の基本方針に加え新業態の店舗の開発を促進することとし、国内では「イタリアントマト カフェ とうめい厚木クリニック店」や、中国に「夢見屋 上海アピタ金虹橋店」など海外に3店出店する一方、不採算店22店を閉鎖し、店舗数は274店(直営店61店、F C店213店)となりました。カフェジュニアの店舗においては、提供するホットコーヒーを環境配慮型のレインフォレスト・アライアンス認証農園産コーヒーに変更するなどグランドメニューの変更を実施しました。

業績につきましては、株式会社イタリアントマトにおいて不採算店の整理を進めたことなどにより売上面では前年を下回る結果となりました。また、原材料価格や人件費の高騰に対し、付加価値の高いメニューの投入や効率的な販管費の活用を図るなど利益面での改善に努めました。

この結果、当第3四半期連結累計期間における株式会社アマンドを含めた飲食関連事業の売上高は38億26百万円(前年同期比14.0%減)、営業損失は71百万円(前年同期は1億18百万円の営業損失)となりました。

(その他)

その他事業の当第3四半期連結累計期間における売上高は30億56百万円(前年同期比3.8%減)、営業利益は2億88百万円(同30.1%増)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

総資産は前連結会計年度末に比べて16億51百万円増加し、516億52百万円となりました。

流動資産は33億4百万円増加し、285億71百万円となりました。償還等により有価証券が減少(42億10百万円減)、大手取引先との取引拡大及び取引方法の変更に伴い買掛金の支払いが一時的に増大したことにより現金及び預金が減少(49億6百万円減)する一方、原材料及び貯蔵品の増加(64億85百万円増)、受取手形及び売掛金の増加(54億22百万円増)などによるものであります。

固定資産は16億53百万円減少し、230億81百万円となりました。償却が進んだことにより、有形固定資産は5億27百万円、無形固定資産は72百万円それぞれ減少しました。投資その他の資産は投資有価証券の減少(9億16百万円減)などにより10億53百万円減少しました。

(負債)

負債は前連結会計年度末に比べて18億99百万円増加し、146億89百万円となりました。

流動負債は前連結会計年度末に比べて20億20百万円増加し、124億94百万円となりました。これは支払手形及び買掛金の増加(16億6百万円増)などによるものであります。

固定負債は1億21百万円減少し、21億94百万円となりました。

(純資産)

純資産は前連結会計年度末に比べて2億47百万円減少し、369億63百万円となりました。これは利益剰余金の増加(9億27百万円増)、自己株式の取得による減少(8億77百万円減)、その他有価証券評価差額金の減少(1億1百万円減)、非支配株主持分の減少(98百万円減)、退職給付に係る調整累計額の減少(89百万円減)などによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成28年3月期の業績予想につきましては、現時点において平成27年10月26日に公表致しました業績予想の変更はございません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(企業結合に関する会計基準等の適用)

「企業結合に関する会計基準」(企業会計基準第21号 平成25年9月13日。以下「企業結合会計基準」という。)、
「連結財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第22号 平成25年9月13日。以下「連結会計基準」という。)
及び「事業分離等に関する会計基準」(企業会計基準第7号 平成25年9月13日。以下「事業分離等会計基準」という。)等を、第1四半期連結会計期間から適用し、支配が継続している場合の子会社に対する当社の持分変動による差額を資本剰余金として計上するとともに、取得関連費用を発生した連結会計年度の費用として計上する方法に変更いたしました。また、第1四半期連結会計期間の期首以後実施される企業結合については、暫定的な会計処理の確定による取得原価の配分額の見直しを企業結合日の属する四半期連結会計期間の四半期連結財務諸表に反映させる方法に変更いたします。加えて、四半期純利益等の表示の変更及び少数株主持分から非支配株主持分への表示の変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第3四半期連結累計期間及び前連結会計年度については、四半期連結財務諸表及び連結財務諸表の組替えを行っております。

当第3四半期連結累計期間の四半期連結キャッシュ・フロー計算書においては、連結範囲の変動を伴わない子会社株式の取得又は売却に係るキャッシュ・フローについては、「財務活動によるキャッシュ・フロー」の区分に記載し、連結範囲の変動を伴う子会社株式の取得関連費用もしくは連結範囲の変動を伴わない子会社株式の取得又は売却に関連して生じた費用に係るキャッシュ・フローは、「営業活動によるキャッシュ・フロー」の区分に記載する方法に変更しております。

企業結合会計基準等の適用については、企業結合会計基準第58-2項(4)、連結会計基準第44-5項(4)及び事業分離等会計基準第57-4項(4)に定める経過的な取扱いに従っており、第1四半期連結会計期間の期首時点から将来にわたって適用しております。

これによる損益に与える影響額は軽微であります。また、当第3四半期連結会計期間末の資本剰余金が2百万円増加しております。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成27年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	9,457	4,550
受取手形及び売掛金	7,744	13,166
有価証券	4,510	300
商品及び製品	1,534	1,527
仕掛品	199	229
原材料及び貯蔵品	1,239	7,724
繰延税金資産	251	237
その他	348	864
貸倒引当金	△18	△28
流動資産合計	25,267	28,571
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	5,840	5,511
機械装置及び運搬具(純額)	2,326	2,231
土地	6,334	6,334
その他(純額)	809	706
有形固定資産合計	15,311	14,783
無形固定資産		
のれん	358	295
その他	311	302
無形固定資産合計	670	598
投資その他の資産		
投資有価証券	6,697	5,780
長期貸付金	117	109
繰延税金資産	44	68
退職給付に係る資産	5	7
差入保証金	1,584	1,482
その他	557	476
貸倒引当金	△255	△225
投資その他の資産合計	8,752	7,699
固定資産合計	24,734	23,081
資産合計	50,001	51,652

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成27年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	6,953	8,560
短期借入金	58	71
未払金	1,574	1,713
未払法人税等	132	543
賞与引当金	526	312
その他の引当金	1	2
その他	1,225	1,289
流動負債合計	10,473	12,494
固定負債		
長期借入金	66	112
繰延税金負債	527	506
再評価に係る繰延税金負債	505	504
その他の引当金	6	4
退職給付に係る負債	247	184
資産除去債務	267	279
その他	695	603
固定負債合計	2,316	2,194
負債合計	12,789	14,689
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,628	4,628
資本剰余金	5,037	5,040
利益剰余金	28,526	29,454
自己株式	△13	△891
株主資本合計	38,180	38,232
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,110	1,009
土地再評価差額金	△3,572	△3,570
為替換算調整勘定	0	△11
退職給付に係る調整累計額	441	351
その他の包括利益累計額合計	△2,019	△2,220
非支配株主持分	1,050	952
純資産合計	37,211	36,963
負債純資産合計	50,001	51,652

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)
売上高	42,810	50,236
売上原価	29,998	37,084
売上総利益	12,811	13,152
販売費及び一般管理費		
広告宣伝費及び見本費	1,073	945
荷造運搬費	1,003	1,114
車両費	398	369
貸倒引当金繰入額	3	20
役員報酬	256	246
給料及び賞与	4,331	4,345
賞与引当金繰入額	234	241
退職給付費用	132	170
福利厚生費	730	724
賃借料	874	896
減価償却費	279	278
消耗品費	294	241
研究開発費	173	165
その他	1,740	1,734
販売費及び一般管理費合計	11,526	11,494
営業利益	1,284	1,657
営業外収益		
受取利息	15	7
受取配当金	254	169
持分法による投資利益	41	62
受取家賃	33	35
その他	68	42
営業外収益合計	412	317
営業外費用		
支払利息	7	7
為替差損	3	24
賃貸借契約解約損	—	9
その他	10	4
営業外費用合計	20	45
経常利益	1,677	1,929

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)
特別利益		
投資有価証券売却益	—	88
受取保険金	—	18
受取補償金	300	253
受取賠償金	8	—
特別利益合計	308	359
特別損失		
固定資産売却損	18	3
減損損失	192	184
持分変動損失	—	13
投資有価証券売却損	—	91
特別損失合計	210	293
税金等調整前四半期純利益	1,774	1,995
法人税、住民税及び事業税	584	740
法人税等調整額	195	57
法人税等合計	779	798
四半期純利益	995	1,197
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	12	△92
親会社株主に帰属する四半期純利益	982	1,290

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)
四半期純利益	995	1,197
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	297	△105
土地再評価差額金	—	1
為替換算調整勘定	1	△11
退職給付に係る調整額	△21	△89
持分法適用会社に対する持分相当額	0	2
その他の包括利益合計	277	△203
四半期包括利益	1,273	993
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,258	1,088
非支配株主に係る四半期包括利益	14	△94

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	1,774	1,995
減価償却費	936	1,003
減損損失	192	184
固定資産売却損益(△は益)	18	3
投資有価証券売却損益(△は益)	-	3
受取保険金	-	△18
受取補償金	△300	△253
受取賠償金	△8	-
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△2	△9
賞与引当金の増減額(△は減少)	△339	△213
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	△52	△74
受取利息及び受取配当金	△269	△176
支払利息	7	7
持分法による投資損益(△は益)	△41	△62
持分変動損益(△は益)	-	13
売上債権の増減額(△は増加)	△2,215	△5,423
たな卸資産の増減額(△は増加)	△469	△6,514
未収消費税等の増減額(△は増加)	-	△201
仕入債務の増減額(△は減少)	1,643	1,606
未払金の増減額(△は減少)	△22	331
未払消費税等の増減額(△は減少)	304	△221
その他	173	△32
小計	1,328	△8,051
利息及び配当金の受取額	263	167
持分法適用会社からの配当金の受取額	11	13
利息の支払額	△6	△7
保険金の受取額	-	18
補償金の受取額	300	253
受取賠償金の受取額	10	-
法人税等の支払額	△802	△343
法人税等の還付額	18	30
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,122	△7,918
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△3,000	-
定期預金の払戻による収入	3,000	1,000
有価証券の取得による支出	△7,500	△600
有価証券の償還による収入	7,500	4,800
投資有価証券の取得による支出	△365	△3
投資有価証券の売却及び償還による収入	134	814
有形固定資産の取得による支出	△1,089	△791
その他	120	50
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,199	5,269

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	186	188
短期借入金の返済による支出	△100	△192
長期借入れによる収入	-	100
長期借入金の返済による支出	△35	△34
自己株式の取得による支出	-	△877
配当金の支払額	△358	△359
その他	△65	△77
財務活動によるキャッシュ・フロー	△373	△1,252
現金及び現金同等物に係る換算差額	△0	△15
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△451	△3,916
現金及び現金同等物の期首残高	7,138	8,467
現金及び現金同等物の四半期末残高	6,687	4,550

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、平成27年10月27日開催の取締役会の決議に基づき、自己株式 450,000株の取得を行いました。

この結果、自己株式は当第3四半期連結累計期間に877百万円増加し、当第3四半期連結会計期間末において891百万円となっております。

(セグメント情報等)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

前第3四半期連結累計期間(自 平成26年4月1日 至 平成26年12月31日)

(単位：百万円)

	報告セグメント			その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注3)
	コーヒー 関連事業	飲食 関連事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	35,183	4,449	39,632	3,177	42,810	—	42,810
セグメント間の内部売上高 又は振替高	364	4	369	1,179	1,548	△1,548	—
計	35,547	4,454	40,001	4,357	44,359	△1,548	42,810
セグメント利益又は損失 (△)	1,659	△118	1,541	221	1,762	△477	1,284

- (注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれていない事業セグメントであり、飲料製品製造事業、オフィスサービス事業及び通販事業、運送物流事業、保険代理店事業等を営んでおります。
2. セグメント利益又は損失(△)の調整額△4億77百万円には、セグメント間取引消去△28百万円、棚卸資産の調整額△2百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△4億46百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。
3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当第3四半期連結累計期間(自 平成27年4月1日 至 平成27年12月31日)

(単位：百万円)

	報告セグメント			その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注3)
	コーヒー 関連事業	飲食 関連事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	43,353	3,826	47,179	3,056	50,236	—	50,236
セグメント間の内部売上高 又は振替高	373	21	394	1,377	1,772	△1,772	—
計	43,726	3,847	47,574	4,434	52,009	△1,772	50,236
セグメント利益又は損失 (△)	1,951	△71	1,879	288	2,167	△509	1,657

- (注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれていない事業セグメントであり、飲料製品製造事業、オフィスサービス事業、通販事業、運送物流事業、保険代理店事業等を営んでおります。
2. セグメント利益又は損失(△)の調整額△5億9百万円には、セグメント間取引消去△20百万円、棚卸資産の調整額△73百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△4億16百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。
3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。